



夏のうた

①夏の訪れの歌が「茶摘」です。立

春から数えて八十八日目、五月上旬からお茶の葉の摘み取りが始まります。♪卯の花が垣根に匂い、「夏は来ぬ」となります。

②次に、♪夏が来れば思い出す…水芭蕉の花や尾瀬のハイキングが「夏の思い出」になります。

③昔の唱歌には、これぞ海だという歌がありますが、今では全く歌われないのは、残念です。歌いましょう海の歌を！

♪うみはひろいな 大きいな…
「うみ」

♪松原遠く消ゆるところ…「海」
♪われは海の子 白波の…
「われは海の子」

④平成の歌では、井上陽水の「少年時代」が私は好きです。

♪夏が過ぎ風あざみ
誰のあこがれにさまよう
青空に残された
私の心は夏模様…

⑤茅ヶ崎といえば、夏・海ですね。そこで、夏のうたのイントロ・クイズです。

- ①♪海に抱かれて 男ならば…
- ②♪波音が響けば 雨雲が近づくと…
- ③♪きみを見つけた この渚に…



- ④♪砂まじりの茅ヶ崎 人も波も消えて…
- ⑤(三番の出だし)♪エボシ岩が遠くに見える…

ご当地ソングがたくさんありますが、正確に歌うのは意外に難しいものです。(井)

- 答え)
- ⑤サザンオールスターズ 「チャコの海岸物語」
 - ④同「勝手にシンドバット」
 - ③ザ・ワイルド・ワンズ「思い出の渚」
 - ② 研ナオコ「夏をあきらめて」
 - ①加山雄三「海・その愛」



知床半島で出会ったキタキツネのこども

ぶちらいふ編集室は、これからみなさまに、先進的な取り組みを行っている事業所の情報をお伝えして

編集後記

暑中お見舞い
申し上げます

昨年の富山型デイサービスに続き(ぶちらいふ25号)に掲載、編集室では7月に、北海道中標津町のデイサービスを見学してきました。広大な大地が広がる中、送迎リニアがあまりに広いのでびっくりしました。(野生の動物もよく出てくるそうです。)

今号ではデイサービススタッフが見学させていただいた千葉県松戸市の自立支援型デイサービスをご紹介します。『いきいき舎』ホームページをご覧ください。

後日談ですが、見学の時にお世話になった『いきいき舎』の富田さん(通所介護統括部長)と青木さん(副所長)が先日「らいふ松が丘」と「らいふ萩園」を訪問してくださいました。お忙しい中、有難うございました。

新・生活総合リハビリ特化型デイサービス 「いきいき舎」を訪ねて

デイサービス探訪

いきいき舎(千葉県松戸市)

リフシアは「らいふ萩園」と今春オープンさせた「らいふ松が丘」がともに、自立支援に向けたリハビリ重視のデイサービスとして、理学療法士や作業療法士を加えた新たな取り組みを始めています。

お邪魔した日は月1回のいきいきツアーの日で、定員2名で公共交通機関を使って「浅草観光ツアー」に出かけていました。



理学療法士や作業療法士が行うリハビリは大人気だそうです

職のリハビリや健康講座、作品作り、パソコン、ボランテイア、麻雀、カラオケなど複数のプログラムが充実しているのも、他のデイにはない特色です。らいふ萩園では早速、宝くじと脳トレジャー等のアイデアをいただきました。



千葉県松戸市の「いきいき舎」は常盤平(定員38名)、中和倉(定員45名)の2か所でデイサービスを運営しています。(他に居宅介護支援事業、訪問介護、サービス付き高齢者住宅も運営)

その他にも実践的なリハビリとして、障害のある人や筋力の少ない人が配膳や下膳を行えるワゴンや、入浴練習場が手作りされています。

常に見学に来るお客様の秘密は、「ここで行ったリハビリプログラムが自宅の生活に結びついて活かせることだ」といいます。本来あるべきデイサービスの姿を発見し、私たちも頑張る決意を新たにしました。

いきいき舎のユニークなプログラム

玉砂利の上を歩く歩行訓練も外に出かける実践的プログラム(これも手作り)屋外リハビリも徹底しています。



施設通貨「デイ」を使っていきいきコンビで買物、競馬、宝くじもできる



チャレンジしたいプログラムがいっぱい



お楽しみ行事



らいふ通信「ぶちらいふ」夏号Vol.28
2012年8月15日(季刊発行)
編集/ぶちらいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103
発行/株式会社リフシア



「私たちはみなさんと同じ地域の中にいますよ。あなたの住む町に普段着姿の私たちはいますよ。」

家族の介護を経験して、経済面の心配が増えた、仕事との両立に悩んでいる、睡眠不足や自分の時間が持てなくなったと感じている人が多く聞きます。本日は元気だったときのように生活させてあげたいけれど、家族だけでは難しくあきらめていることはありませんか。

小規模多機能やグループホームは在宅サービスのひとつで、地域密着型のサービスとされています。必要な介護を受けながら地域の住民として催しに参加したり、自分たちでもさまざまなイベントを行っています。今号の特集記事では、リフシアの小規模多機能やグループホームの生活の一部を紹介します。



らいふ柳島 松ヶ丘と対戦 運動会

小規模多機能は、家を出て施設の顔なじみの人達と安心して過ごせる第2の我が家です。でも、たまには違う所に出かけ、皆さんが本来持っている力を発揮する機会も大切になっています。先日、らいふ松ヶ丘で、季節外れの運動会を行い、交流や競争の体験をしました。今後は、リフシアの事業所に拘らずこのような機会を作っていければと思っています。

お昼は、らいふ柳島特性の野菜たっぷり焼きそば



競技種目は借り物競走・パン食い競争・玉入れ等、接戦の末らいふ柳島が勝利を収めました。勝っても負けても悔いはなし！

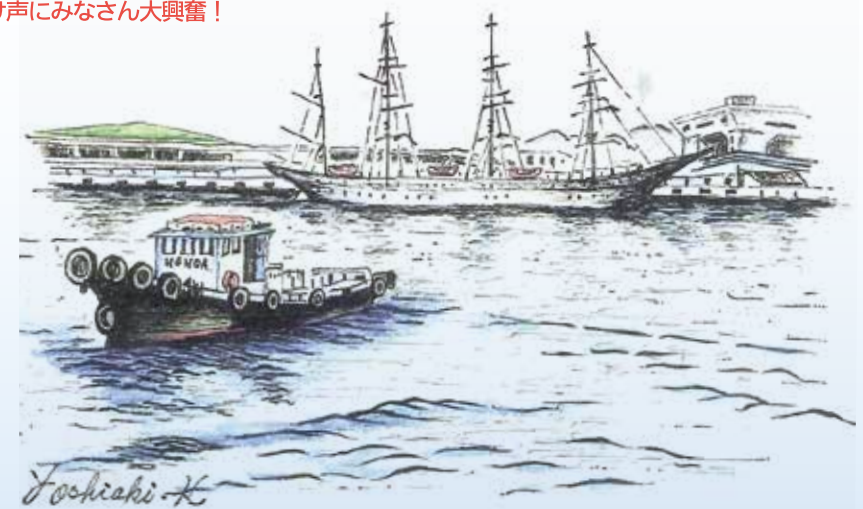


らいふ香川 諏訪神社の大祭り

私たちが暮らす茅ヶ崎市香川は、地域に長く生活してきた方が多く、皆さんで地元のお祭りを支えて居られます。お客様のお知り合いから、ご家族まで沢山の方が御神輿を担いでこられました。6月に行われた諏訪神社の例大祭では敷地内まで御神輿が寄って下さり、皆さんで茅ヶ崎甚句を大合唱しました。



茅ヶ崎育ちの血が騒ぐ、迫力満点、諏訪神社の神輿！“どっこい、どっこい”の掛け声にみなさん大興奮！



江の島を望む湘南の海は大漁でした

テントの日陰で一休み



らいふ神明 地曳網・江ノ電に乗って

私達は皇大神宮の至近「宮之前町内会」の一員です。先日町内会の地引網に参加させて頂き、ご配慮でテントや駐車場も用意していただき、普段見られない表情や言葉の中で想い出に残る行事となりました。江ノ電腰越ツアーでは昔勤務されていた江ノ電に乗り、しらすを食べて来ました。今後も地域住民の一人として生きる姿を支えていきたいと思っています。



地元獲りたてのしらすを食べられる、ご家族の働く食堂で昼食。

江ノ電は湘南に住む私たちの自慢。(写真右の方が江ノ電に元勤務)



「地域の中で暮らす」

小規模多機能型居宅介護・グループホームから町に出よう

お土産に赤飯をいただき、来て良かった！



ご近所さんにお孫さんや子供たちのお囃子やフラダンスなど舞台を堪能中。



らいふ松林 ふれあい祭り

6月の運営推進会議で、民生委員の方から地域の行事やイベントについて、日時や予定を教えてくださいました。早速、6月10日八王子神社で行われた「ふれあい祭り」に参加させていただきました。当日は鯉のつかみ取りや歌やダンスの催しなど、楽しい時間を過ごすことができました。これからも、積極的に地域活動に参加していきたいと思ひます。



大きな飾りに胸が躍る七夕まつり。

平塚駅前には人がいっぱいだったけれど出かけてよかった！



らいふ松が丘 平塚七夕まつり

「地域行事への積極的参加」を目指して、日々取り組んでいるらいふ松が丘では、平塚七夕祭りへ参加しました。いいお天気ではありませんでしたが、きれいな飾りに目を輝かせ人の多さに目を丸くしながら、みなさんととてもいい笑顔を見せてくださいました。「地域の行事」を通して「地域に溶け込む」事で、みなさんの表情がとても良くなりました。